

島田市地域防災計画

共通対策編
地震対策編
原子力災害対策編
風水害対策編
大火災対策編
大規模事故対策編
(計画の部)

平成30年度

島田市防災会議

処理すべき事務又は業務	
(7) 被災者の救助、救援に関すること。	
(8) 被害に関する情報の収集、伝達及び被害調査に関すること	
(9) 市、関係課間との連絡調整に関すること。	

8 県

処理すべき事務又は業務	
(1) 県地域防災計画に掲げられている掌握業務	
(2) 市及び防災関係機関の災害事務及び業務実施についての総合調整	

第3節 市の自然条件

1 位置及び境域

市は県のほぼ中央に位置し、大井川沿いの平坦部を除いてほとんどが山林地帯である。

北は無双連山を始めとする山嶺を境に川根本町に接し、東は静岡市及び東北部の高根山から山稜の尾根を境にして藤枝市に接している。

西は浜松市、森町及び掛川市、南西部は菊川市、南は高尾山を境にして牧之原市に接し、東南部で吉田町及び大井川をはさんで焼津市に接している。

一級河川大井川をはじめ家山川、笹間川、身成川、伊久美川、相賀谷川、伊太谷川、大津谷川、東光寺川、大代川そして湯日川等の急流河川が流れており、大井川により運ばれた土砂の堆積によってできた平坦地が緩い勾配となって海岸へ向かっている。

面積・人口等

平成27年国勢調査

東西	南北	面積	人口
約23km	約31km	315.70km ²	98,112人

2 地形・地質の概要

市は、大井川扇状地のように平坦なところから、伊久身、笹間地区のように険しい山岳地帯に至るまで、変化に富んだ地形をしている。その状況によって次の7つに区分することができる。

地域	地形・地質等
伊久美川流域	(1) 平坦地が少ないため、狭い段丘面上を利用し、生活の場としている。
	(2) 地質は、四万十層群と呼ばれる硬い砂岩と頁岩から構成され、この層は更に下部、中部、上部の3つに分けられる。
	(3) 長島地区と西向から大森にかけては、四万十層群の下部層が分布しているが、この下部層は主に緑色から黒色の頁岩からできており、ところどころに砂岩と頁岩の互層が見られる。
	(4) 中平から小川にかけての地区は、緑色の頁岩でできた上部層が分布している。
	(5) その他広い地域は中部層で、リズムミクな砂岩と頁岩でできている。これらの場所では、急傾斜や断層によって破壊された地帯も見られ、この地帯では地すべりの発生する危険性がある。地すべりは、水を含むと粘土化するような軟弱な岩石や、断層によって岩石地や断層が破壊され、断層粘土ができるようなところに集中的に発生している。この地すべりによって、道路や家屋、耕地に被害が現れているので、その対策には十分な注意が必要である。

